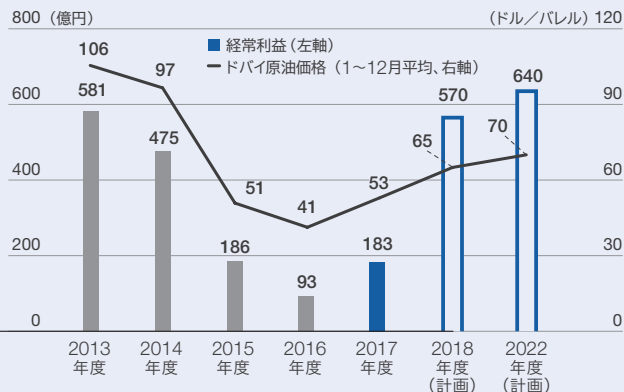


OIL EXPLORATION AND PRODUCTION BUSINESS

石油開発事業



経常利益



※操業会社(アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発)は12月決算

強み

- 約50年にわたるアブダビでの安定した海上油田生産実績に基づく強固な信頼関係
- アブダビ石油の既存3油田の30年間の権益延長とヘイル鉞区取得、ヘイル油田でのフル生産
- 当社の筆頭株主であるMIC(旧IPIC)^{※1}の出資先であるセブサ社^{※2}とのアライアンス

※1 アブダビ酋長国100%出資のエネルギー関連投資会社IPIC(International Petroleum Investment Company)とMDC(Mubadala Development Company)が統合し、持株会社としてMIC(Mubadala Investment Company)設立。
 ※2 スペインの大手総合石油会社

新連結中期経営計画における事業戦略

ヘイル油田生産の利益貢献等により、2022年度の経常利益640億円をめざします。

- アブダビ石油のヘイル油田でフル生産を継続(アブダビ石油/カタール石油開発/合同石油開発3社合計生産量 2017年度比 約1.5倍)
- 操業コストの削減(単位当たり▲30%以上)
- 次期新規開発案件の検討

2017年11月にヘイル油田での生産を開始、2018年1月からフル生産を継続しています。中東において、日系企業が操業権を持つ油田からの生産開始は、2011年以来となります。

ヘイル油田は既存の原油処理・貯蔵・出荷設備などの共有で投資を抑制(概算▲3~4億ドル)すると共に、生産量増加

により単位当たり操業コストも低減しております。

また、新規開発案件については、約50年にわたる油田開発と安全・安定的な油田操業により培った技術と、中東産油国への多岐にわたる協力により築き上げた信頼関係を活かし、新たな油田開発を検討していきます。



前連結中期経営計画の振り返り

当社グループではアブダビ国営石油会社と緊密な協力関係を構築すると共に、アブダビ首長国を中心に、産油国との友好関係の構築に力を注いできました。

このような活動が認められ、アブダビ石油は2012年12月に既存3油田の利権を30年間更新した上で、更に隣接する新鉱

区ヘイル油田の利権を取得。2013年より開発に着手、2016年には掘削作業を開始、2017年11月より生産を開始しました。

また、合同石油開発においては、既存油田の安定的な生産を進めたほか、アブダビ首長国、カタール国両政府との協議を進め、2018年3月に利権更新を内容とする新規契約を締結しました。

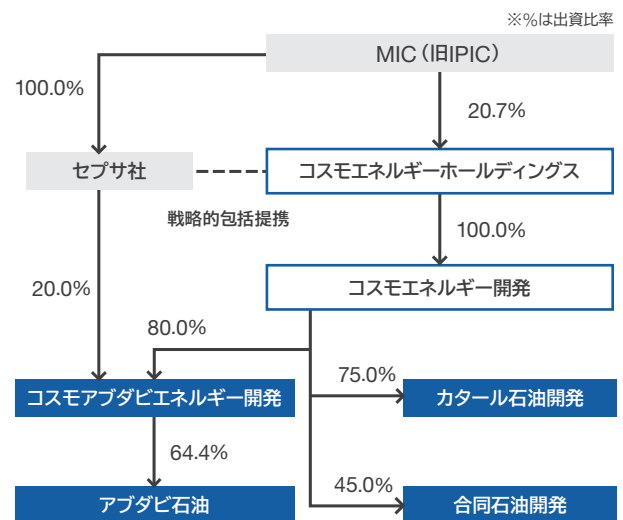
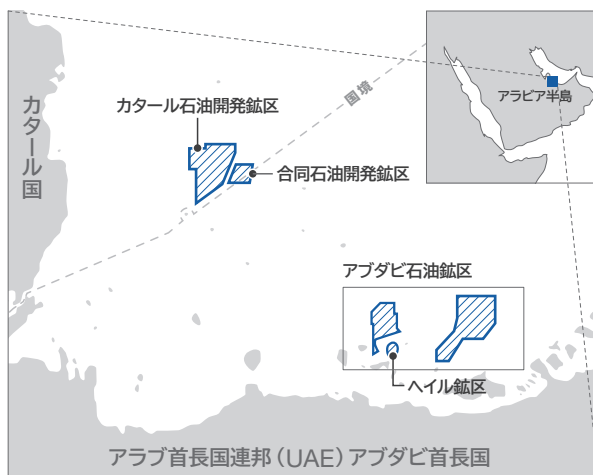
ヘイル開発の経緯

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
探鉱 (3D震探)		3D震探	データ解析		
開 発		基本計画	水路浚渫・人工島建設	地表設備建設	
	鉱区取得		掘削準備	掘削	生産開始

コスモエネルギーグループの石油開発体制

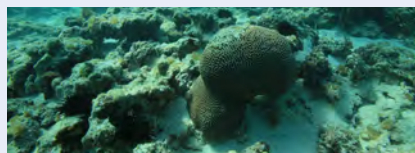
当社グループは、1967年に権益を取得して以来約50年にわたって、3社(アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発)で安全操業・安定生産を続けてきました。中東地域で日系企業がオペレーターとなる会社としては最大規模の原油を生産しており、低リスク・低コスト開発を実現しています。

コスモエネルギーグループの鉱区



より良い社会の実現へ向けて -CSV (Creating Shared Value) -

当社グループ原油生産量、原油価格



安定供給

ヘイル油田でのフル生産が、当社グループの自主開発原油比率の上昇のみならず、日本におけるエネルギーの安定供給につながります。また、日本とアラブ首長国連邦アブダビ首長国との更なる関係強化にもつながることとなります。

環境保護活動

ヘイル油田は国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) に登録された環境保護区に位置し、同油田の開発にあたっては、入念な調査・検討を行い、油井掘削時に発生する掘屑や排水は地下の専用井に埋め戻しています。加えて原油生産時の随伴ガスを燃焼しないゼロフレア操業を同時に実施しており、完全な“廃棄ゼロ操業”を実現しています。



安定的な
エネルギー調達先の確保



安定的な
エネルギーの供給



日本語教育

学校法人立命館と協力し、アブダビ現地の高校 ATHS[※]にて日本語教育プログラムを提供しています。当プログラム修了生のうち12名がアブダビ国営石油会社の奨学金で日本に留学中です。

※Applied Technology High School